

# 予 算 要 求 資 料

令和3年度当初予算 支出科目 款：農林水産業費 項：林業費 目：県産材流通対策費

## 事業名 しいたけ産地活性化事業費補助金

(この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください)

林政部 県産材流通課 資源活用係 電話番号：058-272-1111 (内3014)

E-mail：[c11545@pref.gifu.lg.jp](mailto:c11545@pref.gifu.lg.jp)

1 事業費 4,155千円 (前年度予算額：4,155千円)

### <財源内訳>

区 分	事業費	財 源 内 訳							
		国 庫 支出金	分担金 負担金	使用料 手数料	財産 収入	寄附金	その他	県 債	一 般 財 源
前年度	4,155	0	0	0	0	0	0	0	4,155
要求額	4,155	0	0	0	0	0	0	0	4,155
決定額									

## 2 要求内容

### (1) 要求の趣旨 (現状と課題)

しいたけ生産を振興する施策として、原木しいたけ生産団体及び菌床しいたけ生産団体に対して、必要な資材調達のための支援を一体的に行うため、平成29年度から、事務の効率化を図り事業の一本化を図った。

平成23年度の東日本大震災の発生以降、全国的にきのこ生産資材における原木供給量が大幅に減少した。原木やオガ粉など培地材料の供給が不安定となり、それに伴い生産資材の価格は年々高騰し、県内しいたけ生産者の経営を圧迫している。

県内しいたけ生産者が今後経営を継続していくためにも県産材を活用したしいたけ原木、菌床ブロックの利用促進及び生産経費の軽減が求められる。

### (2) 事業内容

コロナ禍の中でしいたけ生産の経営を維持し、産地のさらなる活性化のために、品質の向上、ブランド化、低コスト生産体制整備等を取り組み、県産材を使用したしいたけ生産資材の共同購入に対して助成する。

### (3) 県負担・補助率の考え方

【補助率】原木：原木1本につき20円

菌床：菌床ブロック（2.5kg）1個につき3円  
1産地当たり概ね20,000（個・本）以上の生産資材を調達する生産団体。

#### （4）類似事業の有無

なし

### 3 事業費の積算内訳

事業内容	金額	事業内容の詳細
補助金	4,155	原木：72,000本×20円/本 菌床：905,000個×3円/個
合計	4,155	

#### 決定額の考え方

### 4 参考事項

#### （1）各種計画での位置づけ

第3期岐阜県森林づくり基本計画（H29～R3年度）

#### 2 林業及び木材産業の振興

#### （3）森林資源の有効利用の促進

特用林産の振興

指標：令和3年度まで4,508tのキノコ生産量を維持することを目指す。

#### （2）後年度の財政負担

第3期岐阜県森林づくり基本計画の計画期間である令和3年度まで実施し、終年度中に必要な検討を行う。

#### （3）事業主体及びその妥当性

・事業主体：産地の生産者団体

産地の形成および、低コスト生産体制の整備等を図るために、事業主体を産地の生産団体とすることは妥当である。

## 県単独補助金事業評価調書

<input type="checkbox"/> 新規要求事業
<input checked="" type="checkbox"/> 継続要求事業

補助事業名	しいたけ産地活性化事業補助金
補助事業者（団体）	市町村（事業主体：産地の生産者団体） （理由） 産地の形成および、低コスト生産体制の整備等を図るために、事業主体を産地の生産団体とし、市町村の支援も不可欠なことから市町村を補助事業者とした。
補助事業の概要	（目的） コロナ禍の中でしいたけ生産の経営を維持し、生産団体の共同購入の体制を整え、産地のさらなる活性化を図る。 （内容） 品質の向上、ブランド化、低コスト生産体制整備等を取り組み、県産材を使用したしいたけ生産資材の共同購入に対して助成する。
補助率等	<span style="border: 1px solid black;">定額</span> ・定率・その他 （内容） 原木：1本につき20円 菌床：2.5kg程度のもの1個につき3円 （理由） 県産原木の円滑な確保を図るため。また、外国産の菌床ブロックが増加する中、県産資源を有効に使った確かな品質の菌床ブロックを支援するため。
補助効果	生産団体の共同購入の体制を整え、産地のさらなる活性化を図る。
終期の設定	終期 R3年度 第3期岐阜県森林づくり基本計画の終了年度。

### （事業目標）

岐阜県特用林産の振興方針（キノコ類）に基づき、岐阜県内のキノコ生産量について、令和3年度までに4,508tに増加されるようにする。
---

### （目標の達成度を示す指標と実績）

指標名	事業開始前 (H27年度末)	目標 (R3年度末)	目標 (終期)
キノコ生産量（t）	3,136	4,508	4,508

	H29年度	H30年度	H31年度	R2年度	R3年度 (要求)
補助金交付実績	千円	4,000千円	5,750千円	(予算額) 4,155千円	(要求額) 4,155千円
指標①目標		3,000t	3,000t	4,458t	4,508 t
指標①実績		4,588t	4,408t	(推計値) 4,400t	(推計値) 4,500 t
指標①達成率	%	153%	147%	(推計値) 98.7%	(推計値) 99.9%

### (前年度の成果)

<p>(参考)</p> <p>概ね県産材の生産資材2万個以上を共同購入する生産団体に補助をし、生産団体の共同購入の体制を整え、産地の形成を図った。</p> <p>原木シイタケ産地強化事業：関市椎茸振興会、白川町椎茸原木購入組合</p> <p>菌床シイタケ産地強化事業：おくみの菌床椎茸生産組合、下呂市菌床しいたけ生産組合、JAひだやまっこ出荷組合</p>
---

### (今後の課題)

キノコ類の販売価格が下落傾向にあるとともに、生産者の減少が進行する中で、生産量の確保は厳しいため、低コスト化や生産者の確保が課題である。
--

### (事業の評価)

<p>・事業の必要性（社会経済情勢等に沿った事業か、県の関与は妥当か）</p> <p>○：必要性が高い、△：必要性が低い</p>	
(評価)	<p>○</p> <p>岐阜県特産林産の振興方針(キノコ類)の「キノコ生産量」の目標値を達成するためには、しいたけの振興は不可欠であり、現在の厳しい状況を打開していくためには、生産の低コスト化、品質向上、他産地との差別化などの取組の必要性は高い。</p>
<p>・事業の有効性（指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか）</p> <p>○：概ね期待どおり又はそれ以上の効果が得られている</p> <p>△：まだ期待どおりの成果が得られていない</p>	
(評価)	<p>○</p> <p>平成26年度以降、県産きのこ類の生産量は漸増している。とくにしいたけの生産量は着実に増えており、期待どおりの効果が得られていると言える。</p>
<p>・事業の効率性（事業の実施方法の効率化は図られているか）</p> <p>○：効率化は図られている、△：向上の余地がある</p>	
(評価)	<p>○</p> <p>本事業により、キノコ原木及び菌床ブロックの共同購入の体制が整理され、キノコ原木販売者や菌床ブロック販売者との価格交渉が有利に行えるなど、生産者のコスト削減に貢献している。</p>

### (事業の見直し検討)

岐阜県における林業産出額の約4割は、キノコ類の栽培によるものであり、さらに、その8割以上がしいたけである。しいたけの増産は、キノコ類の生産量増加における重要な位置を占めている。

しいたけの安定生産には一層の低コスト化、安心安全等の品質確保等が必要である。本事業は、安心安全な県産原木の使用と菌床ブロックの共同購入を通じて品質確保と低コスト化を進めるためのものである。

本事業を一層進めることで、県内産森林資源の活用、安心安全な原木の調達、共同購入による生産コストの低減、安定した品質につながる。

### (終期到来時の翌年度以降の事業方針)

**継続**・削減・統合・廃止

岐阜県における林業産出額の約4割はキノコ類の栽培によるものであり、さらに、その8割以上がしいたけであるため、今後も支援は必要である。